

広報

No. 150

くらがし

昭和60年12月15日

発行・編集 国見町企画課

お
も
な
内
容

ミス国见到松浦知子さん	2
国調人口は12,010人	3
今年も大量入選 ～県統計グラフコンクール～	4
昭和61年度就学予定者	4～5
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8～9
公民館だより	10～11
わだい	12



'85

12月

“サザンカ”

花木として庭園に栽培される日本特産のツバキ科のときわ木。10月から12月にわたり花を咲かせ、庭を色どります。(石母田)

ミス国見に松浦知子さん



▲最終審査でせいぞろいした10人の美女たち



▲左から、ミスの松浦知子さん、準ミスの松浦ひろみさん、国分伸枝さん、阿部美和さん

国見町合併三十周年と国見スタンプ会創立二十周年を記念した「ミス国見コンテスト」の最終審査は、十一月二十四日、町民体育館で行われました。

その結果、ミス国見に歯科医院勤務松浦知子さん(22)―藤田字町尻二・六ノ一が選ばれました。また、準ミスには看護学生

阿部美和さん(18)―藤田字中沢一・四、福島信用金庫勤務国分伸枝さん(21)―石母田字蛭沢四ノ一、藤田病院勤務松浦ひろみさん(19)―大木戸字橋門場七ノ一の三人が選ばれました。

最終審査には、十八人の候補の中から人気投票で選ばれた十人が出場しました。吾妻哲夫福島信用金庫理事長を委員長に、熊坂光男県商工連専務理事ら八人が審査員となり、会場の二百人の一般審査の投票も加えて、ラジオ福島島の菅原俊二アナウンサーの司会で行われました。

和服、洋服による容姿のほか

国見町の豆知識などの素養をポイントに選びました。審査の合間には、朝川ひろこ(コロムビア)真木瞳(RCALレコード)相馬里史(ビクター)の三人の歌手と、地元のバンドグループ「サウンドアアップ」が会場を沸かせました。

ミスの松浦さんには副賞のヨーロッパ旅行を手中にし、また準ミスの阿部さんら三人には副賞として沖縄旅行がプレゼントされました。

コンテスト終了後、ミスの松浦さんをはじめ最終審査に残った十人が、雨の中、町内目抜き通りをパレードし、沿道につめかけた人々から盛んな拍手を受けていました。



▲小雨の中、ミスたちが街頭パレード

国調人口は12,010人

前回より40人の減

(表Ⅱ) 伊達郡9町の人口

町名	人口	前回対比増減	前増減比率
桑折町	14,918	17	0.1%
伊達町	10,275	212	2.1
国見町	12,010	△40	△0.3
梁川町	23,040	119	0.5
保原町	24,348	489	2.0
霊山町	11,439	△289	△2.5
月館町	5,524	△91	△1.6
川俣町	20,864	△235	△1.1
飯野町	7,467	△183	△2.4
計	129,885	△1	△0.0

(表Ⅰ) 当町人口・世帯数の推移

年次	人口(人)			世帯数(世帯)		
	総数	男	女	総数	前増減	前増減比率
35	13,111	6,272	6,839	2,471	57	2.4%
40	12,672	6,129	6,543	2,546	75	3.0
45	12,093	5,867	6,226	2,630	84	3.3
50	11,928	5,790	6,138	2,727	97	3.7
55	12,050	5,839	6,211	2,803	76	2.8
60	12,010	5,799	6,211	2,873	70	2.5

十月一日現在で行われた国勢調査の地方集計結果が福島県実施本部から発表になりましたのでお知らせします。なお、この概数は後日総務庁で公表する確定数値と異なる場合があります。前回(五十五年)に回復した一万二千人台は維持したものの、前回より〇・三%、四十人の減となりました。また世帯数は、前回より七十世帯増の二千八百七十二世帯で、それらの推移は表一のとおりです。

一方、福島県全体の人口は、前回より二・二%、四万五千二百一十一人の増加で二百八十二万九千三百三十三人でした。県内九十市町村のうち人口増は九市二十二町二十四村で、残り四十五市町村では人口が減少しています。

なお、伊達郡内の人口は表二のとおりです。

正解者は 八島さんら六人

～人口当てクイズ～

国勢調査の当町の人口当てクイズには、二百二十七人の方の応募をいただき厚くお礼申し上げます。その結果、高城の八島アキさんら六人の方が、今回の結果の一万二千人をズバリ正解されましたので賞状と記念品をお贈りいたしました。また、前後賞として、プラスマイナス一人の方十四人の方に記念品をお贈りいたしました。

正解者及び前後賞の方は次のとおりです。(敬称略)

(正解者)

- ◇八島アキ(高城)
- ◇松田ヨテ(貝田)
- ◇松浦慶明(大木戸)
- ◇渋谷明子(光明寺)
- ◇佐藤アサ子(石母田)
- ◇半沢一隆(山崎)

(前後賞)

- ◇一万二千九人
- ◇半沢光秀(山崎)
- ◇松浦史典(貝田)
- ◇仲野誠(塚野目)
- ◇八島仁(高城)
- ◇村上美紀子(山崎)
- ◇渋谷キミ(光明寺)
- ◇佐藤洋一(西大枝)
- ◇佐藤忠



▶菊地町長から賞状を受ける最高齢者の八島アキさん

良(塚野目) ◇阿部辰雄(大木戸) ◇佐藤ミツ(貝田) ◇武田せい子(森山) ◇佐野トク(徳江)

◇一万二千十一人

◇松浦喜代子(大木戸) ◇菊池トメ(大木戸)

なお、人口の確定は来年度以降となり、今発表の概数を基準に正解者、前後賞を決定させていただきました。

今年も大量入選

県統計グラフコンクール

統計に関心を持ってもらおうと、福島県が毎年実施している統計グラフコンクールは、小学校の児童十名、八点の作品を応募し、七点八名が入賞しました。

小学校低学年の部で、二年の菅野まゆみちゃんの「ひまわりそだちかた」三年の山田紋子ちゃん、後藤志津香ちゃん合同の「昭和六十年夏休みの温度」

十一月二十六日、白河市市民会館で開かれた第三十五回の県統計大会の席上で、四人に賞状と記念品が授与されました。



▲左から教育長賞の菅野まゆみちゃん、後藤志津香ちゃん、山田紋子ちゃん、協会長賞の遠藤見子ちゃん

また、統計功労者として、八島藤市さん(高城、統計従事十七年)が、長年の努力が認められ、県統計協会長表彰を受けました。

統計グラフコンクールの入賞者は次のとおりです。

- ◆小学校低学年の部
 - 教育長賞 菅野まゆみ (小坂小二年)
 - 山田紋子 (同三年)
 - 後藤志津香 (同三年)
 - 協会長賞 遠藤見子 (同二年)
 - 佳作 作遠藤昌美 (同三年)
 - 努力賞 佐藤友紀 (同二年)
 - 田村知香子 (同三年)
- ◆小学校高学年の部
 - 努力賞 佐藤孝之 (小坂小五年)



▲山田紋子ちゃん(左)後藤志津香ちゃんと作品



▲菅野まゆみちゃんと作品

昭和六十一年度 就学予定者

昭和五十四年四月二日
五十五年四月一日生まれの方



来春小学校に入学される百八十三名のみなさん、おめでとうございます。

健康に十分注意して、入学式には、みなさんそろって元気な顔を見せてください。

記載もれや誤字などがありましたら町教育委員会までお知らせください。☎八五二二一一 (敬称略)

藤田小学校92名(男46、女46)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|--|
| 渡辺修司 | 小野哲也 | 佐林智也 | 佐久間明也 | 安孫子真也 | 後藤藤智 | 一藤智三 | 樋口雄一郎 | 草野司三 | 奥山義三 | 八島和陽 | 園井浩鈴 | 倉田雅史 | 田涉八卷 | 吾友成 | | | | | | | | | | |
| 高原淳子 | 佐藤冬子 | 松浦真由美 | 本間和子 | 黒田里美 | 佐藤久美子 | 本間美香 | 工藤雅香 | 野村敬子 | 松浦宏枝 | 半澤沙枝 | 阿谷純子 | 花井悦子 | 佐藤由貴子 | 八島麻美 | 阿部隆幸 | 深田志幸 | 永井義信 | 佐藤直基 | 齋藤俊彦 | 寺島幸吉 | 吉見隆幸 | 佐藤正樹 | 藤泰彦 | |
| 五十嵐佐和 | 松田有季恵 | 鈴木桂美 | 一木直子 | 菊地伸江 | 宇佐美道 | 大和田藍 | 後藤幸恵 | 藤藤幸恵 | 松浦美和子 | 佐藤美和子 | 佐藤美和子 | 滝川牧子 | 小野智佳子 | 佐藤未樹 | 藤貴紀 | 藤勝美 | 藤水真一 | 齋藤安彦 | 瀬戸貴紀 | 吉田賢一郎 | 後藤真澄 | 松本貴紀 | 村浦秀紀 | |

飲酒運転の防止

酔っていないと思っても 体は十分酔っています

「オラは死んじまつただ」 という歌が昔流行したことがあります。この歌は酔っ払い運転をして死んでしまった人のことをバロダイ化したものですが、この歌でも分かるように酔っ払い運転は、死を背負った運転といえます。

酒酔い運転はもろろんのこと、酒気帯び運転も道路交通法で禁じられてはいますが、ドライバーの皆さんは百も承知のはず。それでも、車を運転してしまっただけの言い訳は、「あまり酔っていないと思うから」とか、「少ししか飲んでいないから」、「自分は酒に強いから」などです。

しかし、いくらお酒に自信のある人でも、アルコールは体の機能に間違いなく悪影響を与えます。体が運転をするには適さない次のような状態になっていることを忘れてください。

1 上手に運転している と錯覚する

気持ちが大きくなり、無理な追い越しや割り込みなどを平気でするようになります。

2 居眠り運転をしやすくなる

アルコールには睡眠作用があります。アルコールは、人間の神経などに麻酔薬と同じ働きをします。体が疲れているとき

3 眠りをしがちになります。 などは、知らず知らずのうちに居眠りをしがちになります。

4 注意力が散漫になる

周囲に対する気くばり、注意力が鈍くなります。そのため前方の車ばかりに気をとられ、横から出てくる自動車や歩行者を見落としたりすることが多くなります。



5 反応が鈍くなる

とっさの判断が鈍くなり、動作が遅れがちになります。つまり、前方の車が急ブレーキをかけてもそれに反応しきれず、追突したりしてしまいます。

6 運動動作が きこちなくなる

アルコールでマヒした大脳は運動機能を低下させます。そのためハンドル操作やギヤ・チェンジなどがスムーズにできなくなり、蛇行運転をしたりしてしまいます。

十二月から一月にかけては、何かとお酒を飲む機会が増えます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を地域や職場、家族ぐるみで実践しましょう。また、酒類を提供する飲食店経営者の方は、車を運転するお客さんにはお酒を出さないとか、万一飲んだときは車のエンジンキーを預かるなど、真に思いやりのある配慮をしてあげましょう。

- 森江野小学校27名 (男16、女11)
高橋 理恵
佐藤 富美子
佐藤 あゆみ
吉田 悠子
小早川 愛子

- 小坂小学校26名 (男14、女12)
野真之介
八橋 恵子
高橋 智子
斎藤 聖子
菊地 明美
八巻 絵理子
大波 奈津美

- 大木戸小学校26名 (男17、女9)
本原 克敏
渡邊 敏行
高野 泰彦
菅野 智久
仲野 周史
佐藤 秀春
新妻 朋佳
林 優美子
安藤 満寿美
稲尾 尚美
早田 幸恵

- 大枝小学校11名 (男7、女4)
吉田 茂
大沼 裕幸
星野 史彰
松浦 裕司
松浦 裕司
遠藤 智和
遠藤 康幸
吾妻 健一
佐藤 和彰
遠藤 裕子
村上 裕子
蓬田 仁美
齋藤 千草

- 大波 圭
佐藤 崇
武田 昭
菊地 誠
吉田 雅紀
八巻 幸一

- 佐藤 健一

献血ありがとうございました

十一月十八日協力者

敬称略

(一般協力)

- 遠藤 俊勝 阿部 洋一
松浦 万助 阿部 博
松浦 庄太郎 後藤 正昭
松浦 新一 古内 正一
斎藤 規雄 高橋 勝美
八島 富一 大辺 森治
松野 俊一 渡辺 俊信
角田 洋一 半沢 豊
武田 勲 三品 日出男
高橋 敏夫 曳地 正勝
蓬田 祐男 高橋 靖樹
松浦 光男 松浦 市太郎
渡部 ノブ 松浦 ヒロ子
阿部 ヒデア子 秋葉 多希子
野村 節子 斎藤 ヒサ子
村上 昌子 仲野 静枝
佐久間 ツヤ子 斎藤 よし子
星野 マツ子 佐久間 ヒロイ
八島 和子 本多 コト
菊地 久子 武田 トシエ
栗原 幸恵 桐沢 みよ子
竹田 みつ子 阿部 節子
宗川 由美子

(国見電子)

- 鈴木 信也 菅野 浩
高橋 真二 幕田 道夫
斎藤 秋子 朽木 優子
遠藤 美江子 佐久間 恵子
森 晴子 佐野 フミエ
斎藤 秀子 鈴木 道子
高橋 サチ子 佐藤 キミ子
佐藤 弘子

(生協国見店)

- 松浦 克利夫 秋元 久仁夫
佐藤 定夫 小林 弘道
菱沼 琢寿 斎藤 裕二
蓬田 笑子 高橋 紀子
後藤 キヨ富 榎 真智子
高橋 キヨ子 稲村 あや子
半沢 京子 佐藤 ハルミ
小野 高子

(信用金庫国見支店)

- 樋口 郁雄 岡崎 昇
鈴木 敏弘 菊地 喜伸
清水 幹男 吉田 重夫
佐藤 邦雄 清野 富雄
佐藤 厚子 国分 伸枝

(大木戸小学校)

- 松本 正詞 菅野 博輝

大槻 浩一 佐竹 朝子

(国見町農協)

- 佐藤 朋浩 佐藤 京子

(睦商會)

- 大沼 つい子 浦 健一

(国見ガス)

- 鈴木 広茂

(国見サービスエリア)

- 田中 宣夫

(商工会)

- 森林 嘉助 吉田 誠司
菅野 昭雄 岡崎 長市
徳江 喜市郎 松浦 惣一
秦 清一 吉田 喜三
朽木 好秋 徳江 博典
菊地 多美子 吉田 ととき子

(国見町役場)

- 小野 智義 谷津 富夫
小西 春彦 引地 由則
引地 真羽 根田 孝司
遠藤 喜正 菅野 信朗
協力者 一三七名
採血者 一二二名

身近にある野草・薬草

(18)

ヒヨドリジョウゴ (ツツラゴ)



ナス科のつる性多年草で、冬には葉が落ちてつるが残り、春にこのつるから新葉が出て、つるとともにやわらかい毛が生え

ります。ときに煎汁を皮膚病や神経痛の外用薬として用いることもあげています。

夏から秋にかけて、白色の小花をつけ、花後、球形の果実を結び、赤く熟します。本草書の薬効、「神農本草経」に、「悪寒、胃、腎、肺などの疾患、のどの渴きなどによく、胃腸をよくし、心を鎮め、久しく服すれば身を軽くし、長寿を保つ」と書かれ、「本草綱目」には、

現代の用法 現在の中国では、わが国と同じヒヨドリジョウゴの全草の乾燥したものを「白毛藤」の生薬名で、解毒、解熱、利尿促進などに内服したり、また解毒などには煎汁で洗ったり、薬汁を外用したりしています。わが国では近年、抗シユウウ作用があると注目されています。

さらにくわしくこの薬効をあげています。

▼薬用▲ 夏から秋にかけて、果実がついている全草を採取し、細かく刻んで食酢に漬けておきます。

わが国の江戸期本草書には、

帯状疱疹(ヘルペス)に

これらの薬効を転載しています

食酢漬けの全草を患部に直接

が、その基本は、解熱、利尿、

当てて、外用薬として用います。

解毒に乾燥した全草を煎服する

ようになっているものが多くあ

(山野草カラー百科から)



福祉手当制度が 変わります



国民年金法などの改正に伴い、昭和六十一年四月一日から、原則として成人の障害者に障害基礎年金が支給されることとなります。

これにあわせて、現行の福祉手当制度も改正され、二十歳以上のより重度の障害者を対象とした特別障害者手当が創設されます。

また、二十歳以上の福祉手当受給者の中で、障害基礎年金及び特別障害者手当の支給要件にいずれにも該当しない人に対しては、従来どおりの福祉手当が経過的に支給されます。

特別障害者手当

◇支給対象者
精神または身体により重度の

障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする程度の状態にある二十歳以上の在宅重度障害者

◇対象となる障害程度
概ね次のアからウまでのいずれかに該当する場合ですが、別に政令で定められています。

ア国民年金一級程度の障害(または病状)を重複して有する場合
イ国民年金一級程度の障害(または病状)を一つ有し、かつ同年金二級程度の障害(または病状)を重複して有する場

合
ウ国民年金一級程度の障害(または病状)を一つ有するが、それが極めて重度であるために前記ア、イと同等程度以上と認められる場合。
◇支給制限
施設入所者及び三カ月以上の長期入院患者。
◇適用日
昭和六十一年四月分から
※詳しいことは、役場住民課福祉係へおたずねください。
公 五 三 二

■電線や電柱のルール

●電線の近くでは遊ばないようにしましょう。
お子さまは活発で、何にでも興味をしめします。しかし、電柱は上部に柱上トランスや電線があり非常に危険です。日ごろから注意し、タコなどが電線にひっかかったときなども、自分で登って取ろうとせず、最寄りの東北電力にお知らせください。

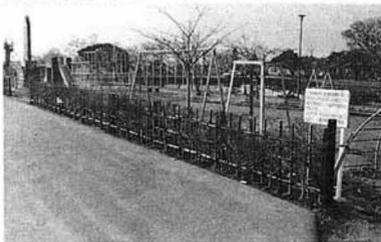


東北電力株式会社福島営業所

桑折出張所 969-16 福島県伊達郡桑折町字本町57-1 0245 (82) 2033

宝くじ助成事業

観月台公園に ドウダンツツジ 桜・ツバキを植栽



▲公園内に植えられたドウダンツツジ



▲公園入口に植えられたドウダンツツジ

緑化推進コミュニティ助成事業として、観月台公園に、このほどドウダンツツジ百三十三本と桜四本、ツバキ六本の若木が植栽されました。
また、平板ベンチ三基と、観月台の大スギ(緑の文化財)の外柵も設置されました。
この事業は、国土の緑化推進運動の一環として発売される宝

くじの売上金を財源とした自治総合センターの昭和六十年年度緑化推進コミュニティ助成事業の助成金によって植栽されたもので、総事業費百二十一万五千元の内、百万円が助成金です。
観月台公園は、私たちみんなの憩いの場です。緑あふれる公園にするため、町民みんなで樹木を大切にしましょう。

善意の窓

町社会福祉協議会に

生協福島消費組合国見店家庭
会から
五万三千五百十円

黒田武次さん(泉田下)から
二万円—故ヒロさんのご遺志

清水弘子さん(小坂)から
五万円—故良男さんのご遺志

佐々木ソノさん(石母田北)
から
五万円—故秋雄さんのご遺志

県北中学校に

清水弘子さん(小坂)から
二万円—故良男さんのご遺志

秦健一さん(駅前)から
二万円—故勇さんのご遺志

藤田小学校に

秦健一さん(駅前)から
二万円—故勇さんのご遺志

山崎明さん(大町南)から
花壇、園芸用標識立札二十八
組

小坂小学校に

清水弘子さん(小坂)から
児童図書(二万円相当)—故
良男さんのご遺志

石原巖さん(株式会社石原商
店社長)から
児童図書(五万円相当)

黒田武次さん(泉田下)から
児童図書(二万円相当)—故
ヒロさんのご遺志

小坂季節保育所に

黒田武次さん(泉田下)から
二万円—故ヒロさんのご遺志

交通安全協会森江野部会に

阿部俊恒さん(徳江北)

八巻民栄さん(徳江北)

小池トクさん(第三)

※それぞれ活動資金として
金一封を寄付されました。

戸籍の窓口

(11月受付分)

出生おめでとうございます

東一館城東九南一原谷坂坂
落西町南市根南田市中町山町川東川町南市
部内第山高内第宮第石耕大
谷十崎谷町田母田母田折町島
内桑大福山大前福泉月滝梁太石太桑宮福

結婚おめでとうございます

正子夫与正美之子夫子廣子治子夫子史子
一あ次真 眞弘淳明テ正眞清松良悦孝美
坂源部業内藤崎野野藤田藤戸辺辺間
氏 熊佐本阿秋山佐沼仲菅中佐原佐瀬渡佐久
氏 実佐秋遠黒漕佐藤

おくやみ申し上げます

年 59 63 84 73 62 50 73 89
名 美雄吉次口男キ勇
正秋大貞ヒ良ミ
沢木元藤田水藤
実佐秋遠黒漕佐藤

人口と世帯

12月1日現在(前月比)11月中のうごき

人-男 5,801人 (-6) 転 入 15人
-女 6,223人 (+4) 転 出 21人
口 -計12,024人 (-2) 出 生 12人
世帯数 2,873戸 (-1) 死 亡 8人

12月 12月 1月

12月 師走(しわす) 1月 睦月(むつき)
21日(出) 小中学校2学期終業式 1日(休) 元旦
22日(休) 冬至 2日(休) 初荷・初夢
25日(休) クリスマス 6日(休) 小寒
27日(休) 満月 10日(休) 小中学校3学期始業式
31日(火) 大みそか 15日(休) 成人の日

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)
時間: 9時~12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、
お気軽にご相談下さい。秘密は絶対を守ります。
[相談員]
12月25日(水) 吉川 弥吉・山内 聡子
1月14日(火) 桜沢 正・牧野 容子
※1月4日は休みです。



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

宮本県警本部主任婦人 少年補導員を招いて 講演会を開く

去る三十日土曜日の午後、町公民館において、県警本部主任婦人・少年補導員の宮本言先生（町内住居）を招き、「青少年を健やかに育むために」というテーマで、約一時間半にわたり家庭教育講演会を開きました。

町教委・公民館主催、町連P・高校保護者会等の後援で、小中高生を持つ多くのお母さん達が出席、熱心に聞き入っていました。

宮本先生は、昭和三十六年二月、初代の婦人・少年補導員として活躍、二十四年余にわたり県警本部で、ヤングテレホンコーナーを担当、その豊富な経験と実際にテレホンコーナーに寄せられた幾つかの事例などを交えての講話であり、出席者の感動を呼んでいました。

いじめの集団化、陰湿ないじめは想像以上なものがああり、いじめられている子供が、学校で

も家庭でも相談相手がいない、ただかたくなにだれにも打ち明けず、話そうとしないことを指摘。お母さんたちに「子供の話を背中で聞かないで、きちんと前を向いて聴いてほしい。」と、また最後に地域の人みんな、健やかな青少年を育てていていただきたいと訴えました。



▲熱心に講話を聴く参加者のみなさん

第一回 伊達地方綱引 選手権大会終わる

伊達地方体育協会主催の第一回伊達地方綱引大会が十一月十七日霊山町国民体育館で各町代表の男子二十三女子二十一チーム参加により行われました。

町代表として男子の部、徳江スポーツ、あかつき青年部、石母田スポーツ、女子の部、石母田スポーツ、貝田スポーツの五チームが参加しましたが残念ながら入賞することができませんでした。

結婚式を体験

～青年学級で 模擬結婚式～

青年学級では、模擬結婚式を十一月二十四日公民館で開きました。

会場を教会風に飾りつけして挙式、親族紹介、記念撮影、披露宴と行い、正装した学級生も新郎、新婦、仲人、牧師などに扮して、本番さながらの演出で行いました。

緊張のあまり、頭の痛くなる

人などいましたが、本番間近かなう人たちだけに、自分の結婚式を思い描きながら、貴重な経験をしようです。



▲緊張のおもちでの模擬結婚式

仲間づくり教室で

クリスマスパーティー

少年仲間づくり教室のクリスマスパーティーは、十二月八日町公民館で開かれました。

パーティの前に女の子は、佐久間祐一さん（佐久間パン店）の指導で、ケーキとクッキーづくり、男の子は、内池和子さん

（母と子の公民館活動指導員）の指導で色画用紙でミニツリづくりをしました。

パーティーは手づくりのケーキ、ツリーを机の上に並べ、サンタクロースのキャンドルサービスで始まり、サークルぼけっとの皆さんとの指導でゲームやプレゼント交換をしたり、手製のケーキを味わったりとひと足早いクリスマスを楽しみました。



▲一足早くクリスマスを楽しんだ教室生

奇 贈

（注）保原青年会議所から、J.C.ふるさとマップ（伊達七町）・伊達藩宿老（富塚と一徳のすべて）を寄贈いただきました。ありがとうございます。

手づくりで 年賀状を

十一月二十三日、親子版画教室が開かれ、小学生二十五人と父母十人が受講しました。

手づくり版画で真心のこもった年賀状を——ということ、絵画教室を開いている石原晃雲さんの指導で、来年のエトにちなんだトラを題材にした版画と自由題材の版画に挑戦しました。子供たちは、慣れない手つきながらも、小刀を動かしながら思い思いに版画を刻みこんでいました。



▲手づくり年賀状に挑戦する児童たち

郡内史跡を散策

ふるさと歴史教室

快晴に恵まれた十一月二十一日、町民学校「ふるさと歴史教室」の伊達郡の史跡めぐりが行われました。

日、町民学校「ふるさと歴史教室」の伊達郡の史跡めぐりが行われました。

桑折の坂町観音寺をはじめ、伊達の斎藤彦内墓、保原の大塚古墳や梁川城跡などを見学し、有意義な一日を過ごしました。参加した教室生十五人は、近くこんないい所があったと知らなかった。教室に参加し、本当にためになった」と話していました。



▲郡内の史跡を散策する教室生

第二十回 国見町、桑折町 青少年健全育成剣道大会

第二十回国見町、桑折町青少年健全育成剣道大会が、国見町、桑折町、福島県剣道連盟桑折支部主催で十一月二十四日午前八

時三十分から国見勤労者体育センターで行われました。

この大会には、国見町、桑折町の小学生、中学生男女約百名が参加しました。

開会式では大会長の菊地国見町長、来賓の桑折警察署長、佐藤利雄教育委員長の激励のあと試合開始となりました。

各選手たちは、お父さん、お母さんの応援をうけ、一生懸命頑張りました。

成績は次の通りです。

○団体戦

- ①国見A ②国見B ③桑折A
小学生高学年(四～五年生)
- ①国見A ②国見B ③桑折A
中学生
- ①釧芳中A ②東北中A ③釧中C



▲チビツ騎士も熱戦を展開

- 個人戦の部
 - 小学生(二～四年生の部)
 - ①青柳良倫 ②玉手 実国
 - ③清水路典 ④清水路典
 - 中学生男子の部
 - ①遠藤幸子 ②川名美智子
 - ③福地昭江
- 小学生(五、六年生の部)
 - ①吉田有希 ②朽木貴之 ③木口拓哉

町民学校 (俳句教室)

後期の町民学校として十一月五日より毎週火曜日六回にわたって開設していただきました俳句教室がこのほど閉講いたしました。

俳句のおこりから始まり実作、学級生の俳句実作指導の作品の中から講師先生の選句十五句指導と講師の熱心な講義に学級を掲載いたします。

国見町公民館俳句教室 講師選句

- 第一回選句
 - * 黄落の中に微笑む磨崖佛
 - * 主従のあ・うんの呼吸菊人形
 - * 検診を終えし気やすさ落葉踏む
 - * てっぺんに辿りつきたる葛紅葉
 - * タやけやおもわず歌うわらべ唄
- 第二回選句
 - * 荒々しき言葉の夕事水雨降る
 - * 初雪や腕の疼き頰に増し
 - * 西海の古事を偲びつ朽葉踏む
 - * 茶の花や観音堂の古びたる
 - * 未枯れの庭に糸くすむひけり
- 第三回選句
 - * 木枯や前だれ赤き六地蔵
 - * 冬空を一刻揺るがしへりコブアト
 - * 冬鴉呼び交ふ下の立話
 - * 初雪や下校する児等嬉々として
 - * 大千寺音なく山茶花日和かな



▲優良賞に輝いた阿部さんの競技

農耕用トラクターの安全運転や耕うん状態などを競う第七回福島県トラクター耕競技大会が十一月二十七日、農協ライスセンター前で開かれました。

競技には、県内十八地方の機械士会から、ロータリー耕の部二十名、プラウ耕の部九名が参

阿部博さんに優良賞

県トラクター耕大会



加しました。

国見町からは、大木戸の阿部博さん、森山の穴戸隆一さんがロータリー耕の部に参加し、阿部さんが優良賞に選ばれました。

この競技は、安全操作技術と農作業技術の向上がねらいで、細かく耕うんするロータリーの部、は場を耕起するプラウの部とも、トラクターの作業点検と実際の場に出るの耕作の二種目で技術を競い合いました。

阿部善雄さんに賞状

賞状



▲賞状を手に喜びの阿部さん

技能月間中の十一月三日、郡山市で開かれた福島県技能フェスティバルに建具の部で出場し

た阿部善雄さん（藤田字中沢、四、五十一歳）に、フェスティバル実行委員会から賞状が贈られました。

阿部さんの出場した建具の部には、県内の一級技能士の資格を持つ八人が参加。伊達郡代表の阿部さんは、日頃の腕前を存分に発揮し、受賞となったもの

桜の苗木を植樹

植樹

去る十一月三十日、農業青年会議所の会員の手で、林道南半田・赤坂線の道路沿いに、桜の苗木四十本が植えられました。



▲道路沿いに植えられた桜の木

大木戸小でアンポ柿づくり

十一月二十七日、大木戸小学校では、勤労体験的学習の一環として、四、五、六年生六十六名全員でアンポ柿づくりを行いました。

このアンポ柿づくりは、昨年からはじめたもので、今年で二年目。渋谷肇PTA会長、八島進一前PTA副会長から寄付していただいた蜂谷（はちや）柿三百五十個を、佐久間宗平校長、渋谷会長から皮のむき方を習い、児童たちは、持ちよったナイフや皮ひきで早速むきはじめました。

児童たちは、家で手伝っていることもあって、短時間でいかにむきあげました。むきあげられた柿は、縄につるし、硫黄でいぶし、校舎のわきにつるされました。この後、出来あがってから、全校生徒で味わうとのこと。



▲慣れた手つきで柿むきをする児童

編集日記

○今年も早いもので、残すところあとわずかとなりました。この一年、お世話になりました。来年も広報くにみをよろしくお願ひします。

○年の瀬、カゼが流行しています。カゼをひかないよう十分注意して、よいお正月をお迎えください。